

後援会員とともに初登庁を喜び合う

3県議=1月8日、県議会棟ロビー



1/8初登庁

茨城県議会 16年ぶりに日本共産党 3議席 獲得



上野高志

(取手市・利根町区 1期目)

「全員野球」の言葉がピッタリくる選挙戦でした。「子どもたち、若者たちが夢と希望を育てる茨城を」と訴え続け、「児童扶養手当と年金を併用支給してほしい」「放射線量が高いので心配」等々、対話が弾みました。
子ども6人に1人は貧困層。シングルマザーの多くが年収200万円以下です。「すぐにおなががいっぱいになるお米ばかり食べさせている」「美大に行きたかったけどお母さんだけ働かせるわけにいかないと就職した」とのテレビ番組を涙ながらに見ました。
政治の責任です。全力で頑張る決意です。

【略歴】 ●1964年千葉県柏市生まれ(50歳) ●日本大学経済学部2部卒業 ●取手市にある共同保育園に保育士として7年勤務 ●30歳で日本共産党の専従職員になり、2006年から党茨城県南部地区委員長を務める ●現在、県議1期目 ●取手市上高井在住 ●家族は妻と息子と娘 ●趣味はスキー、読書、映画鑑賞、美術館めぐり



江尻加那

(水戸市・城里町区 1期目)

3人の子育てをしながら水戸市議12年活動してきた私が、大内 前県議から引き継ぎを決意。選挙2日目にこんなメールをもらいました。「我が家は母子家庭で、次男に障がいがあります。この国に未来が見いだせなくて、将来が不安で、それでも何とか生活しています。今回ほど行く意味を見いだせなかった選挙はありません。でも、かなさんの演説を聞いて行く気持ちが出ました」。心が通い合う出来事でした。
医療や介護、教育、子育て支援を充実させたい。東海第2原発の再稼働を許さず必ず廃炉にしたい。県民共同の力を広げて頑張ります。

【略歴】 ●1973年徳島県生まれ(41歳) ●筑波大学芸術専門学群・建築デザイン卒業 ●水戸市内の建築設計事務所に1級建築士として勤務 ●2003年に水戸市議初当選、市議3期 ●現在、県議1期目 ●小学校PTA会長や保育園父母会長を歴任 ●水戸市平須町在住 ●家族は夫と2男1女 ●楽しみはママさんバレー、花や雑貨の店めぐり



山中たい子

(つくば市区 3期目)

党派をこえた大きなご支援が寄せられ、4年前失った議席を取り戻し県議3期目をスタートさせました。
新年の宣伝中、手を振りながらかけ寄ってきた男性は「当選してよかった。格差を広げる政治は絶対ダメだ」と強く手を握りしめました。子ども連れのお母さんからも思いかげず「これから応援しますので頑張ってください」と声をかけられました。期待の大きさを改めて実感しています。
大きく躍進した国会議員団や、県内地方議員と連携して、公約の実現に全力をつくします。

【略歴】 ●1951年福島県生まれ(63歳) ●日本大学2部法学部新聞学科卒業 ●桜村議1期、つくば市議4期、県議2期を経て、3期目挑戦で惜敗 ●議席空白の4年間、東日本大震災や福島原発事故、つくば市北条の竜巻災害で被災者ボランティアに奮闘、つくば市長選挙に立候補 ●現在、県議3期目 ●つくば市倉掛在住 ●夫と2人暮らし

1 / 16 茨城県議会臨時会

江尻議員が議会運営委員会に

昨年末の県議改選後、初の茨城県議会臨時会が1月16日に開かれ、議長に細谷典幸氏(自民)、副議長に山岡恒夫氏(自民)をそれぞれ選出し、常任委員会委員、議会運営委員会委員を選任。16年ぶりに共産党議員が議会運営委員会の正式委員に選任されました。

また、衆議院選挙の県経費として、12億8500万円の専決処分を可決しました。



山中たい子議員
日本共産党茨城県議団長
防災環境商工委員会委員



江尻加那議員
保健福祉委員会委員
議会運営委員会委員



上野高志議員
総務企画委員会委員
情報委員会委員



茨城県議会本会議場に着席する共産党県議団

【会派別議員数】

いばらき自民党……45人
自民県政クラブ……5人
民主党……5人
公明党……4人
日本共産党……3人
無所属……1人

【期数別議員数】

1期— 7人 2期— 18人
3期— 14人 4期— 4人
5期— 6人 6期— 7人
7期— 6人 8期— 1人

【議員の男女数】

女性議員 5人 (8%)
男性議員 58人 (92%)

年間40人の一般質問制限は撤廃を

日本共産党茨城県議団は臨時会の終了後、細谷議長に議会運営の改善を申し入れました。県議会には63人の議員がいるにもかかわらず、年間一般質問者枠を40人に決めて会派に割り当ててきたため、少数会派の質問機会が制限されています。細谷議長は「各会派の意見を聞いてすすめていきたい」と述べました。



議長に議会運営の改善を要請する共産党県議団

2015年1月16日

茨城県議会議長 細谷 典幸 様

日本共産党茨城県議会議員団
県議会議員 山中たい子
県議会議員 江尻 加那
県議会議員 上野 高志

議会運営の改善に関する申し入れ

新議会が県民の負託にこたえて、県民要求を取り上げ、チェック機能を発揮するうえで、議会運営のいっそうの改善が求められます。県民の多様な意見が活発に議論され、県民に情報と問題点を明らかにしていくうえで、本会議の発言規制の撤廃はまったなしの課題です。

私どもは、これまでも議会運営の改善を提案してきました。新議長のもとで、新議会のスタートにあたり、あらためて下記事項について提案するものです。

記

1. 議会運営の改善について

- (1) 発言の自由は、言論の府としての議会の機能を発揮する最大の要素です。一般質問を年間40名に制限する『議会運営についての申し合わせ事項』はあらためる。会期日数や会議時間を見直し、議員の質問権を保障する。
- (2) 代表質問はすべての会派がおこなえるようにする。
- (3) 1人会派を認める。
- (4) 議会運営委員会はすべての会派で構成する。
- (5) 議案質疑は一般質問と区別しておこなう。
- (6) 討論時間は十分保障し、知事提案、請願、意見書を分けておこなう。
- (7) 全国に例のない挙手表決を改め起立によりおこなう。
- (8) 委員長・副委員長は、委員会において互選する。
- (9) 議案の配付は、議会招集告示と同時におこなうよう執行部に求める。
- (10) 陳情書についても請願書と同様に扱い、審議する。審議にあたっては、請願・陳情の代表者や紹介議員の意見を可能な限り聴取するよう努める。

2. 公費支出について

- (1) 政務活動費は、会派の調査研究に資するための必要経費とい

う用途基準を明確にし、いっそう透明性を高める。「按分」によって政党や後援会活動、私的活動にも支出を認める「手引」は見直すこと。

- (2) 費用弁償は、定例会または臨時会の支給について廃止する。

3. 行政視察の抜本的見直しについて

- (1) 委員会における海外視察は、中止する。
- (2) 県外視察については、「視察ありき」のやり方をあらため、目的、課題を明確にし、視察先について各委員会で合意した場合に限って実施する。視察先での懇親会は中止する。

4. 政治倫理の確立について

- (1) 県公共事業受注企業からの政治献金(政治資金パーティー券を含む)の禁止を実行する。
- (2) 議員の兼業禁止規定を厳格に守る。
- (3) 「資産公開条例」を抜本的に見直し、公開対象・範囲を広げ、審査機関・問責制度がともなう実効性のある「政治倫理条例」に改定する。

5. 選挙区について

- (1) 選挙区は合区するなど改善をはかり、定数1及び2人区をなくす。
- (2) 1票の格差を少なくとも1対2未満になるよう是正する。

6. その他

- (1) 聴覚の障害のために音声聞き取りづらい傍聴者向けに磁気誘導ループシステムを設置すること。
- (2) 傍聴席に「親子ルーム」を設置し、子ども連れでの傍聴を可能にする。
- (3) 常任委員会傍聴については、傍聴席の拡充・改善をはかり、傍聴者に日程や審議項目などの資料を配付する。
- (4) 予算特別委員会の傍聴席について、傍聴者から音声聞き取りづらいとの声が寄せられている。スピーカーを増設するなど改善する。
- (5) インターネットによる中継を常任委員会にまで拡大し、オンデマンド視聴も可能にする。
- (6) 常任委員会と執行部との飲食を伴う懇親会は中止する。
- (7) 議員室は、土・日・祝日も必要なとき使用できるようにする。

(以上)